

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き

## 苫小牧市立大成小学校

### じぶん がくしゅう と く ～自分で学習に取り組むことができるためのアドバイス～



※道教委のホームページには、授業や放課後等の学習、家庭学習で取り組むことができるチャレンジテストが掲載されています。

チャレンジテスト <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/tesuto.htm>

◆1・2年生の子どもは、このように考えています。

- 「何でも知りたい」「もっとできるようになりたい」と思っています。
- がんばったこと、よいところを「ほめてほしい」と思っています。

#### 子どもの学びを支える3つのポイント

##### 認め、励ます

☆家族が手助けし、「よくできたね」「がんばったね」の言葉をかけてみませんか。

☆子どもが今、学校でがんばっていることを話題に家庭で会話を増やしてみませんか。

##### 生活リズムを整える

☆「早寝・早起き」「朝食」「あいさつ」などの基本的な生活習慣を身に付けるようにしてみませんか。

☆生活のリズムを整え、決まった時間に、学習に取り組めるようにしてみませんか。

##### 一緒に取り組む

☆少ない時間でも、子どもと一緒に本を読んだり学習に取り組んだりしてみませんか。

☆子どもと地域に出かけ、自然や動物、人との触れ合いなどの体験をしてみませんか。

◆3・4年生の子どもは、このように考えています。

- 何にでも興味を示し、行動範囲が広がります。
- 自分でやろうとすることが増えてきます。

#### 子どもの学びを支える3つのポイント

##### 認め、励ます

☆子どもの小さながんばりでもほめ、「がんばったね」の言葉をかけてみませんか。

☆子どもが今、学校で学習している内容を話題に、家庭で会話を増やしてみませんか。

##### 生活リズムを整える

☆「早寝早起き朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身に付けるようにしてみませんか。

☆勉強する時間や遊ぶ時間は家族で話し合って決め、生活のリズムを整えてみませんか。

##### 一緒に取り組む

☆その日に習った学習や漢字練習、計算ドリルなどに一緒に取り組んでみませんか。

☆子どもと一緒に読む本を選びませんか。

☆子どもが興味をもったことは、辞書や地図帳などで一緒に調べませんか。

◆5・6年生の子どもは、このように考えています。

- 自分のことは「自分でできる」、「自分でしたい」と思っています。
- 得意な教科、不得意な教科ができて、学習意欲に差ができてきます。

#### 子どもの学びを支える3つのポイント

##### 認め、励ます

☆子どもの小さながんばりでもほめ、「がんばったね」の言葉をかけてみませんか。

☆学校での出来事、悩みや不安などを話し合う家庭の会話を増やしてみませんか。

##### 生活リズムを整える

☆起床時間や就寝時間を確認して、規則正しく生活できるようにしてみませんか。

☆子どもが寝る前に、明日の準備ができているか、声をかけてみませんか。

##### 家族で学ぶ

☆その日に習った学習のポイントと一緒に確認してみませんか。

☆家族で読書する時間を設けませんか。

☆家族で図書館などの地域の施設に出かけ、学習の機会をつくってみませんか。

# 平成29年度 家庭学習・宿題・朝の学習について

大成小では次のような取組をしています。

## 朝の学習（8：15～8：30）

月曜日・・・『国語タイム』として、主に「書くこと」を中心に取り組んでいます。

火曜日・・・『算数タイム』として、主に「四則計算」の問題に取り組んでいます。

水曜日・・・朝読書の時間としています。

木曜日・・・『漢字タイム』として、漢字の書き取りに取り組んでいます。

## 家庭学習 宿題

宿題は基本的に毎日出すようにしています。毎日、学習する習慣を作りましょう。

宿題と共に各学級で家庭学習に取り組んでいます。ご家庭でも、声かけをよろしくお願い致します。

（家庭学習の取り組み方や内容については学級通信等でお知らせします）

学年に応じて「家庭学習」＋「宿題」で目安になる学習時間を確保するようにしましょう。

\*各学期に《家庭学習がんばり週間》を設け、学習時間などを調べています。

苫小牧市立 大成小学校

## 家庭学習の手引き (保護者の皆様へ)

本校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。より成果をあげるためには、学校での学習に加え、家庭での学習の習慣化が大切になります。保護者の皆様のお力添えをいただきながら子どもたちに確かな学力を育てていきたいと思っております。ご協力をお願いします。

### 家庭学習の目的は？



#### ① 学習の習慣化

学年が進むにつれて高度になる学習内容を確実に身に付けるためには、低学年のうちから毎日家庭でも机に向かう習慣を付けることが大切です。

#### ② 学習したことの定着・習熟

「計算」や「漢字」、「音読」などを確実に身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。また、「もっと速く正確にできるようにしたい」という習熟の意識や「もっと調べてみたい」といった意欲も家庭学習への取組でより育まれることが期待できます。

#### ③ 自分で学ぼうとする意欲の育成

学校で学んだことをきっかけに、「できた」、「楽しかった」という思いを子どもたちは抱きます。家庭学習に取り組むことで、そういう「学ぶ喜び」がより蓄積され、次への学びの意欲につながります。

### 時間の目安は？

#### 学年×10分+10分を目標に!!

- <低学年> 20~30分程度
- <中学年> 40~50分程度
- <高学年> 60~70分程度



上の時間は目安です。まずは学年×10分にしっかり取り組みましょう。お子さんの学習の様子を見ながら、その子に合った時間を決めるとよいでしょう。また、学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間と量を自分で決めてできるようにさせていきたいものです。

### ご家庭ではこのようなかかわりを

#### 生活習慣・食習慣

～規則正しい生活で、生活リズムを整えましょう～

起床の  
目安

: 1時間目開始2時間前

就寝の  
目安

- 低学年 : 8時
- 中学年 : 9時
- 高学年 : 9時30分

朝ごはん

: 脳の働きを活発にするので、バランスのよい食事を

#### 学習しやすい環境づくり

- 家庭学習に取り組む時間を話し合ってください
- 学習する場所(机など)を片付けましょう
- テレビやゲームなどを消して、静かな環境を確保しましょう



**子どもたちのがんばりを見つけ!! 認めて!! ほめて!!**

苫小牧市立 大成小学校

かていがくしゅう てび

## 家庭学習の手引き(1・2年生)

がっこうでおべんきょうしたことを、もういちどおうちでもたしかめてみると、あしたのおべんきょうが、もっとたのしくなります。まいにち、おうちでもおべんきょうをしましょう。

### 1 こんな力を身に付けたいですね

#### 1年生が終わるまでに

- ひらがな・かたかながよめて たくさんかける。
- 80じの かんじがすべてよめ 8わりのかんじが かける。
- じょし(て・に・を・は)を てきせつにつかいわけて ぶんしょうが かける。
- たしざん・ひきざんができる。
- えんぴつを たくさんもって じがかける。

#### 2年生が終わるまでに

- ゆっくり せいかくに ぶんしょうがよめる。
- 160じの かんじがすべてよめ、8わりのかんじがかける。
- じゅんじょよく おはなしすることができる。
- かけざん九九が すらすらいえる。
- きめられたながさのちよくせんを じょうぎをつかって たくさん ひける。
- ひっさんで けいさんが できる。

### 2 家庭学習をするときには



- はじめに つくえのうえや みのまわりを せいりせいとんしましょう。
- べんきょうちゅうは テレビやゲームのスイッチを けしましょう。
- 1ねんせい**は**20ぶん** **2ねんせい**は**30ぶん**をもくひょうに がんばってべんきょうしましょう。
- おわったら あすの がっこうのじゅんぴを しましょう。

### 3 こんな学習をしてみましょう



#### ○「よむ」れんしゅう

- こえにだして すらすらと よめるようにしましょう。
- ぶんのくぎりや こえのおおきさ・はやさに きをつけて よみましょう。
- かいわに きをつけて よみましょう。

#### ○「かく」れんしゅう

- ひらがな・かたかな・かんじを たくさん かけるようにしましょう。
- じのかたち・かきじゅん・よみかた・おくりがなにも きをつけて かきましよう。

#### ○「さんすう」のがくしゅう

- かずのよみかた・かきかたを れんしゅうしましょう。
- たしざんやひきざんの れんしゅうをしましょう。
- かけざん九九が すらすらいえるように れんしゅうしましょう。
- しき・ひっさん・こたえをかい て たくさんはやく けいさんできるように しましょう。
- おわったら すぐこたえあわせをして まちがっていたら もういちどやりなおしましょう。

苫小牧市立 大成小学校

## 家庭学習の手引き(3・4年生)



家庭学習は、学校で学んだことをもういちどふりかえり、たしかな学力を身につけるための学習です。毎日こつこつづけることが、あなたの生きる力を高めます。

さあ、できることからつづけていきましょう。

### 1 こんな力を身に付けたいですね

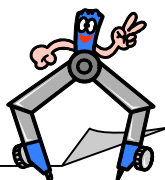
## 3年生が終わるまでに

- ① ならうかん字(200字)をすべて読み、8わりのかん字を書ける。
- ② 国語じてんを正しく使える。
- ③ しゅ語とじゅつ語を正しく使って、文を書くことができる。
- ④ わり算ができる。
- ⑤ はかりを使って重さがよめる。



## 4年生が終わるまでに

- ① 習うかん字(200字)をすべて読み、8割のかん字を書ける。
- ② 言葉のつながりを考えて文章を書くことができる。
- ③ わり算の筆算ができる。
- ④ 平行四辺形やひし形を作図できる。
- ⑤ 47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。

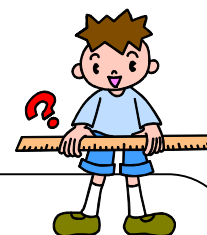


## 2 家庭学習をするときには

- ・机の上をきれいに片付けてから学習しましょう。
- ・テレビを消し、集中して学習しましょう。
- ・学習時間は、学年×10分間+10分間が目標です。  
3年生は、**40分間**です。  
4年生は、**50分間**です。



## 3 こんな学習をしてみましょう



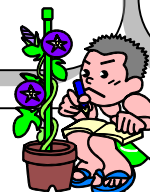
### 【国語】

- ① 教科書を声を出して読もう。(お家の人に聞いてもらおう)
- ② 短い詩をあんしょうしよう。
- ③ じてんで意味をしらべよう。
- ④ かん字の練習をしよう。
- ⑤ 気に入った詩をノートにうつそう。



### 【算数】

- ① 学校でなかったこと(けいさんなど)をふくしゅうしよう。
- ② テストでまちがった問題をもういちどやってみよう。
- ③ みのまわりにあるものの長さや重さ、かさ、角度などをはかってみよう。



### 【理科・社会】

- ① 地図記号をおぼえよう。
- ② 47都道府県をおぼえよう。
- ③ こん虫や植物のかんさつをしよう。





## 家庭学習の手引き(5・6年生)

家庭学習は、学習した分だけあなたの力になるのです。毎日こつこつ続けていくとたくさんの力がつくのです。さあ、できることから始めていきましょう。

### 1 こんな力を身に付けたいですね

#### 5年生が終わるまでに

- ・5年生で習う漢字が全て読め、8割書ける。
- ・教科書の音読がすらすらできる。
- ・整数や小数の $+$  $-$  $\times$  $\div$ ができる。
- ・分数の $+$ ができる。
- ・辞典や図鑑を使って調べることができる。
- ・パソコンでローマ字入力ができる。



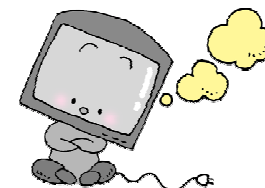
#### 6年生が終わるまでに

- ・小学校で習う漢字が全て読め、8割書ける。
- ・文章の内容をおさえながら、音読ができる。
- ・整数や小数、分数の $+$  $-$  $\times$  $\div$ ができる。
- ・辞典や図鑑を使って調べることができる。
- ・パソコンでローマ字入力ができる。
- ・自分で課題を決めて学習できる。



### 2 家庭学習をするときには

- ・机の上をきれいに片付けてから学習しましょう。
- ・テレビを消し、集中して学習しましょう。
- ・学習時間は、学年 $\times$ 10分間+10分間が目標です。  
5年生は、**60分間**です。  
6年生は、**70分間**です。



### 3 こんな学習をしてみましょう

☆ テストやプリントでまちがった所をもう一度やり直しましょう ☆

#### 【国語】

- ・漢字の書き順や字の形を意識して、きれいに練習しましょう。
- ・作文や日記を書きましょう。
- ・辞典を使って、言葉の意味や使い方を調べましょう。
- ・教科書を声に出して、読みましょう。



#### 【算数】

- ・くり返し練習して、速く正確に計算できるようになりましょう。
- ・文章問題は、声に出して問題を読んだり、簡単な図にかいたりして考えましょう。
- ・自分でまるつけ(赤鉛筆)をし、まちがっていたらもう一度やり直しましょう。

#### 【理科・社会】

- ・自然や生き物の観察記録をかいたり、実験の手順や結果をまとめたりしましょう。
- ・ニュースや新聞を見て内容をまとめたり、自分の意見を書いたりしましょう。
- ・地図帳で地名を覚えたり、歴史の年表を作ったりしましょう。

